

[伊予市家庭教育情報誌]

ほ・の・ぼ・の

第12号



子育てをしていて一番必要なのは祖父母の協力です。いつも笑顔の絶えない楽しい環境で子育てさせてもらっていて本当に感謝しています。

また、地域の方や周りの方々の言葉にも、いつも支えられています。これからも楽しく明るい子育てをしていきたいと思ひます。

祖父母：美濃勝則、京子
父母：美濃英樹、由佳
子ども：翼、優、颯、樹（下吾川）



子育てがんばっています!!



一年ほど前から子どもが習っている剣道を私も習い始めました。一緒に稽古で汗を流し、その日の稽古についていろいろ話をしながら帰るのが、ちょっとした楽しみになっています。

帰ると、いつも祖父母が「お帰りー」と子どもたちに話しかけてくれます。子どもといろんなことが出来るのも、祖父母の協力があるからだ感謝しています。これからも家族みんなで協力し、子どもたちとの時間を大切にしながら、成長を見守っていききたいと思ひます。

祖父母：亀岡将志、久美子
父母：亀岡茂弘、統子
子ども：健太郎、美咲（双海町串）



子育てがんばっています!

子育てというものは精神も体力もあひく消費しまあが、子どもたちの笑顔や昨日できなかったことが今日はできたいという小さな成長を見ると、疲れやストレス、何もかも吹き飛びます。また、祖父母には「第二の子育てみたいね」といって日々助けてもらっています。まだまだ未熟な私たち夫婦に子育ての先輩である祖父母がいてくれて、本当に感謝と尊敬の気持ちでいっぱいです。

家族で過ごす時間を大切に、子どもたちも私たち夫婦も日々学び成長していきます。じいじ・はあは・そしておはちゃん。これからもよろしくね♡あいがとう!

祖父母：富士進、祐子
父母：富士秀幸、絵里加
子ども：蒼、竜晟
叔母：富士由里江（中村）

今後の活動

学校名等	日 時	対 象	内 容
上野地区公民館	2月 1日(金) 9:30~10:30	伊予幼稚園保護者	人権教育
翠小学校	2月17日(出) 10:30~11:30	1~6年生保護者	言葉の大切さ
本郷集会所	3月10日(日) 9:00~10:00	幼児・小学生と保護者	絵本の読み聞かせ

平成24年度生涯学習推進大会のご案内

大会テーマ
「地域の教育力をどう高めていくか」
日時：平成25年2月10日(日)
開会 9:00
場所：伊予市市民会館 大ホール



記念講演講師紹介
パーソナルトレーナー
奥村 幸治 さん
1993年オリックスブルーウェーブにテスト入団後、翌年には、メジャーリーグイチロー選手の専属打撃投手を務め一躍マスコミに紹介される。パーソナルトレーナーとして多くのスポーツ選手を育ててきた経験や、少年野球チームの指導をもとに子どもの能力を伸ばす体づくり、心づくりのヒントを多くのエピソードを交えながら伝授してもらいます。

連絡先

伊予市家庭教育・子育てサポートグループ
☎ 982-5155
FAX.982-5156
〒799-3113 伊予市米湊768-2(伊予市中央公民館内)

家庭教育・
子育てのポイント

マイナスはプラスの要素
プラスはマイナスの要素



子育てに限らず、さまざまなことに言えるのですが、心配・問題・不運と思えることが実は成長や幸運の種になっていることは多いものです。たとえば、日常的な例で言えば、「友人との喧嘩」は、それを解決することによって深い関係へとつながります。「勉強が分からない」というマイナスの状況があるからこそ、「分かった」とする意欲付けがなされ、「分かった時の喜び、自信」へとつながります。けがや失敗でさえも、安心や安全への意識付けや、同じ失敗をしないという決意へと変わります。

逆に、「自信を持ちすぎて失敗」とか「恵まれすぎていて自主性が育たない」などは、教育を語る際によく出される例であり、プラスの状況はマイナスへの要素を秘めているともいえます。

「マイナス要素をプラスに変えていく原動力とする」「プラスの状況において気を引き締める」というのが、保護者はもとより、子どもを支え育てる立場の大人の重要な役割です。



えひめ家庭教育・子育てQ&Aより抜粋

中山小学校での学習会

10月10日(水) 15:00～16:00

中山小学校では1～3年生の保護者20人ほどが子育てについて話し合いました。

始めにチーム員が、「子どもへの関わり方」について、「聞き上手になろう」「白いボールがきたら白いボールを返そう」を中心に話しました。そのあとグループに分かれて子育ての不安や悩みについて話し合い、親として自分自身を見つめ直しました。別室ではチーム員が子どもを預かり、エプロンシアターや紙芝居の読み語りをしました。



- ★子どもの話を良く聞ける、「聞き上手」になれるように努力したいと思いました。
- ★白いボールを返してあげられるようにしたいです。
- ★グループでの話し合いでは、同じ年齢の子を持つお母さん達と、普段の生活の様子を話せてよかったです。
- ★普段の生活をふり返ることができました。



お父さん がんばって!
郡中おやじの会

家庭教育はすべての教育の原点であり、この家庭の教育力を支えるのが地域の教育力です。都市化、核家族化、少子化が進み、子育ての不安が高まるとともに、地域社会の絆が薄れている今日、父親の家庭や地域に果たす役割がますます重要となり、子育てや地域活動への積極的な参加が求められています。

そんな折、地域の父親たちが手をつなぎ、悩みや喜びを共有しながら活動の輪を広げているのが「おやじの会」です。愛媛県でも各地で「おやじの会」が結成され特色ある活動を展開しています。

愛媛県教育委員会生涯学習課



「郡中おやじの会」もその一つで、普段仕事などで子育てにあまりかかわれない父親たちが、できるときに子どもたちのため地域のためにボランティアをしています。メンバーは、PTAの会員やOB、教員など約30人ばかりいます。

郡中おやじの会では、7月28日(土)に住吉まつりの伊予おどりパレードに参加しました。今年も山車を制作運行し、郡中小学校PTA連を応援してきました。そのために、毎年山車の制作に力を入れています。時間の許す方にお願ひし、日野製材所や小学校等で準備をしました。今年は、伊予市の名所旧灯台をイメージして作ったそうです。ところでパレードの方はといえば、先頭を会員が見事に点灯した山車を引き盛大なおどりの連となりました。今年も見事、2012最優秀山車賞を受賞しました。

また、10月28日(日)にウェルピア伊予で開催の「いよし市民総合文化祭&ふるさとフェスティバル」に参加し、あおぞらテント村で「おやじの焼きそば」を出店しました。朝早くから集合して準備、販売前の味見チェック。生まれればそばを焼く人、パッケージ役、販売役と大忙し。天候にも恵まれ完売したそうです。ところで儲けの方は?



さらに、小学校の相撲場づくりでもおやじパワーを発揮しました。



今年は学校行事の都合ですべては出来なかったけれど、例年は小学校の大きな行事である「ふるさと祭り」におやじの会も協力しています。一昨年は「おやじの焼きそば」を企画し、子どもたちにも大好評でした。

また、夏には「谷上山登山」や「飯盒炊さん」などをし、子どもたちの思い出づくりに貢献しました。

何と言っても、パワーの源は、仲間の絆・親睦であり、それは会員の研修にもつながっています。「できることをできるときに」をモットーにお互いが楽しみながらやっています。興味のある方は是非参加しおやじの底力を見せてください。来年度は、他地域のおやじの会との交流も考えているようです。

—インタビューに応じてくださった福岡会長さん
ありがとうございました。—



さっちゃんの 子育て相談日記

子育ては褒めて
叱って抱きしめて!



ずっと以前、相談室を訪れた母子を思い出した。うなだれた小5のM男と母親である。M男の家族は母と妹の3人だった。

「先生、この子は毎晩おねしょをするんです。病院で診てもらったのですがどこも悪くないと言われました。」

「おねしょマットをしても、量が多いもんで敷布団はいつも濡れてしまいます。」

「もう、臭くて、もう、汚くて!」

「だから、私はM男とは別に寝ています。下の子と一緒に寝ています!」
母親は一気に話し続けた。M男はうなだれていた。

・・・夜尿の成因についてはいろいろと言われているが、排尿に関する身体機能の未熟性(膀胱に尿を溜めておく働きの未熟性、抗利尿ホルモンの夜間の分泌不足、睡眠中に尿意を感じても目覚めない)が背景とも考えられる一次性夜尿と、おむつがとれてから1年以上あいてからの二次性夜尿が考えられる。二次性夜尿の場合には心理的要因が関係していることが少なくないと言われている。

(こころのクリニック 臨床小児精神医学入門 宮本信也著より)・・・

M男は二次性夜尿と思われる。「自分は臭くて汚いから母に嫌われている。」という強い自己否定感にさいなまれていた。「一緒に寝たくない!」と言うお母さんの残酷な言葉がこころに刺さっていた。

相談室の私に与えられた役目は、M男のこころに刺さったとげや、責めさいなまれたあげくの強い自己否定感を取り除くためのお手伝いでした。「おかあさん、息子さんと一緒に寝てください。しっかり抱いてあげてください。」

・・・後日 M男のおしっこですぶ濡れになったおかあさんは、「私もおねしょしたみたい。」と笑いながら電話してきた。・・・この日を境に相談は終了した。

子育て相談室

☎982-2602 (伊予市中央公民館内)

相談内容についての秘密は厳守します。

下灘小学校での学習会

10月17日(水)、フリー参観日の後、「わたしの子育て」について学習会を行いました。チーム員の方から「子どもの育て方にきまりはなくみんなちがっていい。ただ愛情をしっかりと言葉で伝えるということを大切にしたい。」という話がありました。その後、グループで子育てについて話し合いました。

★いろいろな子育ての様子がうかがえてとてもよかったです。母親になれてよかったという思いでこれからも子どもたちに接していきたいです。
★やっぱり、いろんな方の子育ての様子をうかがうのは興味深く意見をかわし合うのも盛り上がりつつ楽しかったです。

